



九州産業大学大学院 医療経営セミナー

演題「アフターコロナにおける医療機関経営と管理会計の役割」

九州産業大学大学院経済・ビジネス研究科では掲題のセミナーを開催いたします(参加費無料)。ご希望の方は裏面の申込書により令和4年1月17日(月)までにお申し込みください。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。なお、本セミナーは北部九州税理士会認定研修です(研修細則第2条(6))。

講師 九州産業大学大学院経済・ビジネス研究科教授 浅川哲郎



講師経歴:1995年コロンビア大学経営大学院修了(MBA)、1999年ニューヨーク大学経営大学院上級プログラム(連邦税課程)修了。2008年病院原価計算論の研究で九州大学から博士(経済学)号、2016年相続税の研究で一橋大学から博士(経営法)号をそれぞれ取得。株式会社東芝、ニューヨーク、ロサンゼルス、東京の大手会計事務所を経て現職。専門は医療システム論と租税法。税理士(北部九州税理士会)

日時：

令和4年1月21日(金)

16時から17時30分まで

場所：九州産業大学

1号館 S201 教室

福岡市東区松香台 2-3-1

定員：30名

大規模教室を用いますが、参加者の皆様におかれましては感染症対策を十分に講じてください。また駐車場は利用できませんので公共交通機関をご利用ください。

対象者：

税理士および医療機関管理者等

主な講演内容：

- ①新型コロナウイルスの医療機関経営に対する影響
- ②今後の医療行政の傾向について
- ③主要な管理会計手法についての紹介
- ④米国の事例の紹介
- ⑤今後の医療機関経営における検討すべき管理会計手法の提案

お問い合わせは：

九州産業大学大学院経済・ビジネス研究科 浅川哲郎研究室まで。

電話 092-673-5241